

# 研究の成果と企業との連携により 大学の価値を高めるブランド商品

大学発のブランド商品といえれば、近畿大（大阪府東大阪市）がクロマグロの完全養殖に成功した「近大マグロ」や、京都大（京都市左京区）の「総長カレー」などが知られている。全国大学生生活共同組合連合会の眞田隆裕さんはこう話す。

「大学のブランド商品は、大学の知名度アップを狙うだけではなく、その研究内容や成果を世間に知つてもらいう意味もあります。また、地元の企業と連携したり地元の企業が開発した自転車かご専用のひつくりカバー『MAMO』。現在、三省堂書店楽天市場で販売。価格は1785円

域の特産品や生産物を使用することで、地域の活性化にもつながることから、近畿大（三重県津市）では、同大学院の生物資源学研究科の練習船「勢水丸」の名物メニューだったカレーを再現した「三重大学カレー」が15万食を超えるヒット商品となつている。また、地元の酒造会社と協力し、付属農場で栽培した米を使つた純米大吟醸「三重大」や、洋菓子会社と開発した「学長バウム」も売っているという。

同大では、商品の開発を教育にも生かすため、共通教育科目「三重大ブランドづくり実践」を開講している。新しくブランド商品の提案、製造・販売の検討までの商品開発のプロセスを

学びながら、コミュニケーション力などの社会人基礎力を育成しようというユニクな授業になつている。地元の特産品を利用した商品では、弘前大（青森県弘前市）のりんごジュース「医果同源」や、福井県立大（福井市）の「鰯こうじ」、奈良女子大（奈良市）の奈良の「鳥取二十世紀梨酢」、鹿児島大（鹿児島市）の「ねじめびわ茶」といったものがある。

研究を生かした商品では、玉川大（東京都町田市）の「たまがわはちみつ」や

「たまがわアイスクリーム」があり、同大ミツバチ科学研究センターと農学部の監修で生産されている人気商品だ。このはちみつを利用したクッキーやパウンドケーキ、カレーなども販売。昨年からは、アイスキャンディーや石鹼の販売も始まり、ラインアップは年ごとに充実している。

食べ物以外では、法政大学デザイン工学部システムデザイン学科（同千代田区）の学生を中心としたデザインユニット「cotore（コトリ）」が、自転車カゴ専用のひつくり防止カバーを開発。女性を“守りたい”との願いを込めて「MAMO（マモ）」と名付けた。開発に際し、130人の女性に意識調査を行つたところ、問題意識を持ちながら、「格好が悪い」などの理由でひつくり対策を行つていないことが判明した。このため、防犯性能とデザイン性を兼ね備えた商品を開発。楽に着脱でき、

コンパクトに折り畳めるため、持ち運びも便利だ。また、強引に引きはがそうと

するとカバーが強く引き締まり、外れにくくなる構造が特徴だ。6種類のバリエーションがある。

近年は、产学連携で企業と協力して商品を開発するケースも増えている。

大妻女子大（同）では、

家政学部食物学科4年の学

生3人が、コンビニエンスストア「サークルKサンクス」とのコラボ商品「スマート」たるチキバーガー

の商品開発に携わり、6月に期間限定で関東地区の同

社コンビニ1400店舗で発売した。

これは同社が取り組む地

産地消活動に大妻女子大が

参加したことが始まつた。

学生に「関東地区の食材の

使用」と「指定の飲料商品

に合う弁当」というテーマ

が提示され、授業で学んだことを生かし、話し合いと

試食、プレゼンテーションを繰り返して、約半年で発

83 サンデー毎日 2013.8.11

# (( Campus Flash ))

大学名	所在地	内容
札幌大学	北海道	学生らが地元のファッショニベント「札幌コレクション」などを取材したフリーペーパーを発行、3万部を高校生に配布。
		女子短大部の学生が、キャリアデザイン学科の新設記念プロジェクトとして、就活や日常に着用できるスツーツをデザイン。
北海道情報大学	北海道	正規入学前にインターネット授業やリポート提出などの通信教育が体験できる制度をスタート。入学志望者は単位取得も可能。
白鷗大学	栃木	学生らが民法の事例問題に関して討議を行う「学生法律討論会」を開催。慶應義塾大の田高寛貴教授らが審査を行った。
聖学院大学	埼玉	来春、政治経済学部を再編。現行の2学科を統合し、政治経済学科に「経済経営」「国際平和」など4コースを設置する。
文教大学	埼玉	JTBパブリッシングと連携し、キャンパスを紹介する「文教大学版るぶ特別編集号」を発行。学生らが取材や編集を担当した。
		湘南キャンパスのある神奈川県のラジオ局「FMヨコハマ」の番組で大学を紹介。8月18日のオープンキャンパスで公開収録も。
神田外語大学	千葉	東京外国语大と共同開発した英語教材をウェブで公開。地域ごとに使われている英語の発音や文法の違いを紹介する。
		神田外語グループがイオンとパートナーシップに関する協定を締結。インターナショナルや語学研修などを行う。
淑徳大学	千葉	防犯ボランティアサークルが、大学所有の車両によるキャンバス近隣のパトロールや地域のハザードマップ作りを実施。
城西国際大学	千葉	国際教育センターが公開講座を開催。ジャーナリストの嵐信彦氏が米国大統領の再選や日中韓の政権について講演した。
聖徳大学	千葉	生涯学習研究所が地元企業と連携し、ワークショップ「まつどおしごとデパート」を開催。小学生らが職業体験を行った。
千葉工業大学	千葉	東京スカイツリータウン内に開設した、火星探査体験などが楽しめる体感型アトラクションゾーンの来場者が20万人を突破。
千葉商科大学	千葉	中小企業の経営支援を目的とした人材育成などの取り組みが評価され、経産省から「経営革新等支援機関」に認定される。
		商経学部1年の宮崎浩一郎さんが、米で開催されたホッケー競技の一種「インラインホッケー」の世界選手権大会に出場。
麗澤大学	千葉	学習意欲の向上を目的に、外国語学部中国語専攻が「中国語スピーチコンテスト」を開催。高校生らが課題文を朗読した。
放送大学	千葉	教養学部の全科履修生や大学院文化科学研究科の修士選科生など、10月入学生の出願受付を開始。締め切りは8月31日。
大妻女子大学	東京	キャリア教育の一環で、産学連携による商品を開発。被服学科生らがデザインしたペット犬用のアロハシャツなどを販売中。
学習院女子大学	東京	知的好奇心の育成を目的に、環境教育センターが体験学習を開催。牛乳をテーマに、小学生が学生らと味の比較などを行った。
工学院大学	東京	10月にオーストラリアで開催されるソーラーカーの世界大会「World Solar Challenge」に学生らが出場。約3000kmを走行する。
		神戸学院大などと設立した「社会貢献学会」が表彰制度を新設。地域への社会貢献活動を行う個人やグループを評価する。
駒澤大学	東京	法科大学院が9月入学制度を導入。今年8月の入学試験合格者から適用する。また入学検定料を減額し、一律5000円に。
		グローバル・メディア・スタディーズ学部生が、海外向けに横浜市の観光情報サイトを制作。企画から運営までを担当する。
駒沢女子大学	東京	小学生女子を対象にサッカー体験教室を開催。女子サッカーチーム「日テレ・ベレーザ」の監督や選手らが指導を行った。
実践女子大学	東京	『源氏物語』に関する学園所蔵の資料の魅力を伝えることを目的に、全国の有名書店でおりを配布。絵柄は第14帖・瀬林の巻。
昭和大学	東京	登山者の診療を行う「夏山診療所」を、北アルプス・白馬岳と山梨県・北岳に8月末まで開設。医学部生らが診療をサポートする。
昭和女子大学	東京	資生堂が社会貢献活動の一環で開講する「子どもセミナー」に学生らが参加。付属小学校で児童らに洗顔方法を解説する。
		城南信用金庫と産学連携協力に関する協定を締結。地域ニーズに応じた人材育成プログラムの開発などに取り組む。
清泉女子大学	東京	カトリックセンターが、日本に初めてマザー・テレサを紹介した写真家、沖守弘氏の写真展を開催。期間中に同氏も来校した。
創価大学	東京	国際仏教学高等研究所の辛鳩靜志教授が独・ザクセン学士院の学術賞「Friedrich-Weller-Preis」を受賞。仏教研究を評価。
大正大学	東京	学部共通科目「大学入門」の授業内で、仏式結婚式を学内の礼拝堂で挙行。新郎は大学院仏教学研究科の畠中哲也さん。
玉川大学	東京	大学のある町田市を拠点とするサッカーチーム「FC町田ゼルビア」との連携事業として、試合観戦イベントを開催した。
中央大学	東京	理工学部の小松晃之教授らが、酸素を輸送できるタンパク質クラスターの合成に成功。人工血液としての応用を目指す。
東京家政大学	東京	学生らがアレルギーに配慮した菓子を開発。小麦や卵を使わず、米粉や豆乳で作ったケーキやクッキーを即売会で販売した。

**研究を商品化**  
**最先端分野の**  
このような産学連携の研究では、最先端分野の商品

「例えば、『着心地の良さ』なども、データに基づいて数値化するので、根拠のある商品を安心してお客様に提供できます。また、大学の研究成果に基づく商品は、他社との差別化にもなり、ものづくりに科学的に取り組んでいるということもアピールできます」

ある信州大(長野県松本市)は、繊維学部が衣料品販売を行い、この春からは吸湿などで通気量をコントロールする特殊繊維を採用した男性用肌着「ドライコントロール肌着」を同社の全店舗で販売している。同社広報担当者は、大学と共同開発するメリットについてこう話す。

大学名	所在地	内容
帝京平成大学	東京	女子サッカー部コーチの櫻本尚子氏が、ロシアで開催された「ユニバーシアード競技大会」女子サッカーの日本代表に。 文科省「スポーツを通じた地域コミュニティ活性化促進事業」に選定された千葉県市原市教育委員会との連携事業に着手。
東京経渉大学	東京	52歳以上の人対象の「シニア大学院生制度」の入学生が設置7年目で32人に。4専攻を学ぶことができ、修業年限が選択可能。
東京工科大学	東京	キャリア教育の一環で就業体験プログラム「コーオプ教育」を実施。大学が企業と連携し、勤務内容の調整や事前教育を行う。
東京薬科大学	東京	応用生物学部の遠藤泰志教授らが、加熱調理中に気分が悪くなる「油酔い」のメカニズムを解明。調理現場の環境改善に期待。 生命科学部が産学連携による講座を開講。製薬会社などから講師を招き、学生らが課題解決への提案を社員にプレゼン。
東邦大学	東京	生命科学部の山岸明彦教授らが、全生物共通の祖先生物の生育温度を実験により推定。生命的起源の解明が期待される。
東洋大学	東京	薬学部の市田公美教授らの研究チームが、痛風を発症しやすい遺伝子の要因を特定。検査により早期からの予防が可能に。
日本文化大学	東京	科学への関心の向上を目的に、理学部が高校生対象の体験学習を開催。放射線の性質や測定に関する講義、実験を行った。
法政大学	東京	今秋、社会人などを対象に東洋哲学や現代社会に関する講義を行う「井上円了哲学塾」を開設。塾頭は総長の塙川正十郎氏。
明治大学	東京	11年に竣工したメディアセンターが、東京都建築士事務所協会主催の「東京建築賞」の一般一類部門で最優秀賞を受賞した。
ヤマザキ学園大学	東京	高度専門職業人の養成を目的に、大学院が日本労働組合連合会などとの連携による教育組織を設置。15年に開講予定。
テンブル大学ジャパンキャンパス	東京	地域研究センターが、地域政策に関する図書や論文を表彰する「地域政策研究賞」を開催。8月22日まで作品を募集する。
神奈川大学	神奈川	大学の役割を社会へ発信することを目的にウェブサイトを新設。教育活動や研究内容を写真や動画で分かりやすく紹介する。
神奈川工科大学	神奈川	動物愛護団体主催のシンポ「改正動物愛護法」を開催。9月の同法施行を控え、今後の課題などについて解説した。
関東学院大学	神奈川	6月に行った13年度卒業式の様子をウェブで公開中。ニール・セオボルド総長の基調講演や学生らのスピーチを掲載。
金沢工業大学	石川	「全国高校生俳句大賞」の作品を募集。入賞作品は作品集『17音の青春』として出版する。締め切りは9月末。
京都外国語大学	京都	「全国高校生理科・科学論文大賞」の論文を9月まで募集。東大の長倉三郎名誉教授が審査委員長を務める。結果発表は12月。
京都産業大学	京都	全国の中高生からITに関するアイデアを募集する「リケメン・リケジョのIT夢コンテスト」を開催。27校157件の応募があった。
佛教大学	京都	学生のものづくりに関する活動を経費の助成などで支援する独自の制度「夢の実現プロジェクト」に11団体を採択した。
龍谷大学	京都	人間環境学部生らが神奈川県葉山町の地域連携プロジェクトに協力。風景や生活様式を住民から聞き取り、絵屏風を作成する。
大阪工業大学	大阪	8月21・22日に小中高生が対象の「KITサマー・サイエンス・スクール」を開催。科学実験ものづくりの計17講座を行う。
大阪国際大学	大阪	地震や津波の防災研究を行う地域防災環境科学研究所の南海トラフ超巨大地震に関する研究が、文科省の支援事業に選定。
大阪産業大学	大阪	各国の文化や言語にちなんだイベントを行う「ナショナル・ウィーク」を実施。次回はドイツをテーマに10月から開催する。
摂南大学	大阪	15年の創立50周年を記念しシンポ「細胞内の情報から医療における個人情報へ」を開催した。総合生命科学部教授らが講演。
千里金蘭大学	大阪	18日18時にオープンキャンパスを開催。受験対策講座や学科紹介のほか、在学生や教員と交流できる「おしゃべりランチ会」も。
桃山学院大学	大阪	洋菓子店と連携し、経営学部松尾順介ゼミの学生らがプリンや焼き菓子を開発。企画から試作、販売、経営までに携わった。
松山大学	愛媛	経営学部河内俊樹ゼミの学生ら約25人が、大学のある松山市の観光ガイドブックを発行。JR松山駅などで無料配布する。

※記事の詳細については、「大学プレスセンター」のホームページ(<http://www.u-presscenter.jp/>)をご覧ください。

も生み出されている。文教  
大情報学部(神奈川県茅ヶ崎市)で開発された3Dソ  
フトウエアのSPV(立体写真閲覧ビュー)も産学  
連携で商品化が決まった。SPVは、平面の立体写真  
を動画化してスマートに拡大縮小して閲覧するソフト  
ウェア。数学的な手法で立体像を制御することで、二  
重像が生じないで画像を表示することを可能にした。  
このソフトを導入することで、博物館などで、展示物  
を立体で拡大して細部まで鮮明に映すことができるな  
ど応用範囲は広い。技術の発展によって、博物館は  
一部は特許が認められ、1年以内に一般向けの商品が  
販売される予定だ。

大学ブランドの商品は、大学の名を冠したものだけ  
に、品質にこだわったものが多い。各大学の生協など  
の売店に行くと販売されているケースが多く、オーブ  
ンキャンパスの時などに、いろいろなケースが多くの  
大学で見るといいだろう。